

平成 30 年 8 月 21 日

眼科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 大型黄斑円孔硝子体手術における内境界膜翻転術の被覆法と充填法の手術成績の比較研究

研究機関 市立札幌病院 (眼科)

研究責任者 眼科副医長／岩崎将典

研究の目的

ものを見る中心である黄斑という部分に網膜の穴が開いてしまう、黄斑円孔という病気が起きることがあります。そのまま放置すると円孔は拡大し、視機能も大きく障害されます。硝子体手術により治療しますが、その際に黄斑円孔周囲の内境界膜という網膜表層の膜を処理し、さらにガスを注入して手術を行います。内境界膜を剥離してしまう従来の方法では、特に大きな円孔は閉鎖が困難なため、硝子体手術において内境界膜を翻転する治療を行います。翻転法には、大きく 2 種類あり、内境界膜で円孔をカバーする被覆法と内境界膜を円孔内に充填する充填法があります。これら両術式について、術後視力や網膜外層構造に与える影響について調べ、その有効性を検討します。

研究の方法

1 対象となる患者さん

大型黄斑円孔の患者さんで、2014 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日の間に硝子体手術を受けた方。

2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、手術日、観察期間、視力、眼圧、水晶体状態、屈折、眼軸帳、光干渉断層計所見、手術記録などを調査します。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目

市立札幌病院眼科